

# 釧路南ロータリークラブ会報

第44回 例会報告 2012.6.1 通算1444回

・点 鐘 長倉会長 長江 勉会員 S26.6.1 (61歳)

## ・ロータリーソング

「奉仕の理想」「君が代」「四つのテスト」

ソングリーダー 森江 洋之会員

## ・お客様と来訪ロータリアンの紹介

釧路ロータリークラブ 栗林 定正君



## ・会長挨拶



## ・入会記念祝

安藤 整治会員 H26.6.1 (22年目)

## ・誕生祝

森江 洋之会員 S37.5.26 (50歳)



山本 美穂会員 S46.5.26 (41歳)



皆さん今日は。いよいよ、今年度最終月となりました。例会場の変更は、5月からの予定でしたが、5月のプログラムが移動例会で終始しましたので正式には、本日が例会場変更の第一回目となります。4月にこちらで行った時は移動例会という位置づけです。今月のプログラムは、一年を顧み、30周年、キャンドルサービスということで終了です。30周年は福井実行委員長を中心にご尽力いただき順調に準備が進められております。クラブとして大勢の方々をお招きしての一大イベントですので、会員全員で力を合わせ成功に導いていかなければなりません。それぞれの担当でのご協力をお願いいたします。特に、韓国新晋州RCよりイ会長ほか4名の方々が21日より来釧され、26日まで滞在される予定です。21日にはお迎え、26日は見送り、そして簡単な歓迎会等、高橋友好クラブ委員長を中心に対応していただかなくてはなりませんのでご協力をお願いいたします。改めてスケジュール等決定しましたらご案内いたします。

## ・幹事報告



- \* 浜中RC・根室RCより6月プログラムを拝受しております。
- \* 根室RCより会報を拝受しております。
- \* 次週のプログラムは最終月で本日の1年を振り返っての続きです。3大カテゴリーを中心にクラブ運営、クラブ管理、奉仕プロジェクト委員長から次年度に向けた提言をいただければと思います。委員長が出席できなければ小委員会に提示してください。
- \* 今年度の事業として、30周年の大きな行事が今月の23日(土)に開催予定で、6月4日(月)6:30合同事務所で、実行委員会で打ち合わせを行います。

## ・委員会報告

### 出席委員会 工藤ゆかり会員

会員23名 14名出席

メイクアップ3名 修正出席率61%



## 親睦委員会 山本美穂会員

- ・本日のニコニコ献金

安藤 整治会員	入会記念祝として
森江 洋之会員	誕生祝として
山本 美穂会員	誕生祝として
長江 勉会員	誕生祝として



## ・本日のプログラム

### 「会長・幹事この1年を顧みて」

担当 会長・幹事

#### ◆長倉会長



まずは、とうとうあと一ヶ月か、意外に早かったというのが実感です。最後に30周年に会長としての役割が残っておりますので気が抜けない状況ではあります。振り返りますと、今年度の道のりはスタートでいきなりスタックしてしましまして、幹事が決まらず年次総会を前にどうしたらいいのか紛糾しておりましたら、佐藤玄史さんに無理をお願いし幹事を引き受けていただき何とか先に進むことができました。年度初めの各クラブへの表敬訪問は幹事を2度経験させていただいておりましたので、あまり緊張しなくて済みまして。

それより緊張したのが前年度「木内会長年度」で決定しておりました、地区資金で釧路市立総合病院への「フライトスーツ」の寄贈でした。寄贈式は全く要領を得ておりませんでしたのでかなり緊張しましたが、前年度の事業なのに、おいしいとだけ頂いてしまいました。

8月にはガバナー公式訪問でした。特にクラブ協議会は、私と幹事はガバナー懇談会から終えてすぐクラブ協議会への会場入りしましたので、クラブ協議会の会場の状況がどうなっているのか把握しておりませんでしたので、協議会の会場の大勢の会員の皆様が待ち受けていただきその予想外の多さのけ反ってしまいそうなくらい驚いたのを覚えております。伊東さんにも来ていただいて、ガバナーに謝辞をして頂き本当に感激いっぱいのクラブ協議会でありました。本当に皆さんに感謝しております。今年度の会長のテーマとしては、「地域を知り、感じ、楽しもう」として進めてまいりました。その中で、写真家の横山 宏さんを例会でお招きし道東の自然の美しい映像を鑑賞するプログラムを行いました。これが好評で今回の30周年の基調講演となりました。実は、流れは話の通りですが、横山さんには、例会でお願いする一年くらい前に30周年で講演をお願いした場合に引き受けてもらえるかどうかを確認しておりまして、快く了解をいただいております。実現する事となって自分としては、嬉しさもありますが不思議な気持ちです。でも、こうなった原因は横山さんの写真も見せてもらってその美しさに感動したからだと思っております。横山さんからは30周年のネタは素晴らしいものが出来上がってきていると興奮気味に話をされておりますので、楽しみです。また、テーマの一環として行ったプログラムとしては、「キャンプ例会」があります。これも当クラブとしては初めての試みとなりましたが残念ながら参加者が少なく、空振りとはまではいきませんが、ファウルチップくらいな感じでした。他のクラブでも、キャンプ例会を行うところが増えているようです。これをきっかけに、次年度も検討していただき少しずつ進化させていただければ楽しいものになっていく事が可能かと思っております。大驚の観察会というような例会も提案させていただきましたが、残念ながら時間や場所等ちょっと無理があり、個人的に根室市での企画に参加し、例会で報告させていただきました。絶滅危惧種の大驚やオ

ジロワシはその存在感はやはり地元の人間としては、もっと身近で感じないともったいないと思っておりますし、そういう環境に住んでいる特権ですし、地域の素晴らしさでもありますので、知り感じる事が地域の活性化に少しでも、通じると考えております。今年度の例会で、これまでと違ったのは、夜間例会を今までの年度と比べると約倍増させたということです。これは夜間例会の方が出席率が高い現状と昼間の例会では長時間の協議ができないということがあったので実行してみました。集計はしていませんが、毎回の出席率はやはり夜間の方が高かったと思いますが、昼の例会の出席率が上がらなかったとも言えます。また、これにより夜間例会の会場をロイヤルインの都合で移動例会としましたので、まとまりがないとのご意見もあり最終的には、通常の例会場の変更へと繋がりロイヤルインからここ東急インへとなり食事もいいですし雰囲気も意外にいいですし成り行きですが、いい結果と成ったと思っております。反省すべきことは、たくさんあります。会員増強、出席率向上、委員会活動の活発化等、私の力不足で満足な結果を出す事も具体的な有効な手段も出せなかった事は、申し訳なく思っております。次年度に期待をさせていただいて、できなかった分は次年度以降にバックアップに協力していきたいと考えております。あと一ヶ月ですが、これまでの皆様のご協力に心より感謝申し上げます、最後まで宜しく願いいたします。

#### ◆佐藤幹事



「一年を振り返って」  
今年度の幹事としての任期も残り、今月でとなりました。まずは、会員皆様のご協力に感謝いたします。大変ありがとうございました。今、現在の心境は、ホッとする気持ちと、同時に「一年間を振りかえって」反省の言葉と会員の皆様へ幹事としての務めの

至らぬ事ばかりでした私自身の“力量不足”でご迷惑をかけた事、申し訳なく思います。私自身、幹事としては2度目で、楽勝で進めると多少の気の緩みも重なっていた。10年前の時と取り巻く状況が違う事も承知していたつもりですが、組織的には、ロータリー全体の流れ、当クラブにも会員数の減少による影響が出てきていると感じました。具体的な内容、出来事を少し振り返ってみますと、会員数については、引き受け時、22名でバトンを受け1名の会員が仲間に入りましたが、複数の会員がそれぞれの事情で退会するむねの意向を伝えてきています。尚、現在対策を具体化しております。会員増強には、各委員会を中心に会をあげて努力してきたつもりですが、結果がついてないのが実情です。目標にはとどきませんでした。例会プログラムについては、長倉会長の方針と、ロイヤルインのホテル側の事情もあり、夜間例会、昼例会、移動例会と、ホームグラウンドでの例会が半分、移動例会が半分、準備に大変だった印象を感じました。反面、夜間例会での出席は多少上向きでした。一連の事情の中で今後の例会場を東急インに例会場の変更となりました。今後新しい例会場の活用等は、会員の創意のもと例会の場としていきたい。続いて、3大カテゴリーのクラブ運営委員会について。出席委員会についてですが、クラブ運営の要、会員の出席の義務として全体としては小規模のクラブとしても出席率は依然改善されていないと思います。今後出席については、会員から幹事か出席委員長へ、必ず、欠席は事前に連絡を入れる事とする。急な仕事でも欠席は止むを得ないと思います。

親睦活動については、当初からも会員相互の親睦の重要性を認識し、今年度も親睦委員長を中心に夏祭り例会、キャンプ例会、観楓会例会、スポーツ例会、クリスマス例会、新年例会、雛祭り例会、花見例会等、家族の参加で親睦を深めたと感じました。今後よりたくさんの家族、奥さんを含めた多くの参加ができるよう企画の検討を、残り最終のキャンドルパーティ宜しく願いいたします。

クラブ会報については、幹事の配慮の足りなさで、本年度も会報本来の役割の問題点を残したと思います。クラブ全体の体力不足として次年度の課題とします。プログラム委員会については、予定のプログラムは消化しましたが、例会場の問題にすりかえるつもりはないんですが少し変更が多すぎたと思

います。プログラム委員会と運営委員会の小委員会で予定月間、会員の参加、興味のある内容、年間のなかで卓話は、必ず1人一回は参加する事とする等、検討していただければと思いました。さらに例会のプログラムの担当については、指摘されましたが、担当に責任を持たせていく事が重要であると。

特に、クラブ管理上プログラム遂行は、担当部会、責任委員会と幹事との打合せが大切である事とお叱りをいただきました。クラブ管理委員会は、会員増強委員会が一番の重要委員会である事には変わりません前段で話しましたが、会員の増強が全委員会の問題点の解決につながる。クラブ活性化、ロータリークラブの役割を果たすこのことは、わかっているが結果が伴わない。今後さらに会員増強は、計画、行動、方法の検討を奉仕プロジェクト委員会はロータリー委員会はロータリー活動、本来の奉仕活動を具体化していくことで、予定の奉仕活動については、ほぼ消化したと、クリアされたと、思われますが財団、米山等寄付金については、議論のあることと感じました。特に、国際奉仕については、ここは、会長の報告があると思います。ロータリーの公式行事については、クラブ協議会から始まり各委員会セミナー、ガバナー公式訪問、ライラセミナー、地区大会、IM、他参加してきました。一定の参加ができたと思います。しかし、これも会員の高齢かなのか、青少年事業はライラをはじめ認識が足りなかったと思われる。まだまだ、たくさんの反省点がありますが、今後は会員全体で解決をしていく、必然的に、楽しい参加のできるクラブ活動目指していかなければと思います。それと、最後に30周年の記念行事が残っています。福井実行委員長を中心に会員全員で成功させ、次年度を迎えたいと思います。最後になりますが、会員はもとより、皆様のご協力と友情に感謝いたします。

一年間大変ありがとうございました。



## ・次回のプログラム

6月8日(金)

「各委員長 この1年を顧みて」

会場 釧路東急イン

担当：会長・幹事

・点 鐘 長倉会長

今週の会報担当：長江勉会員